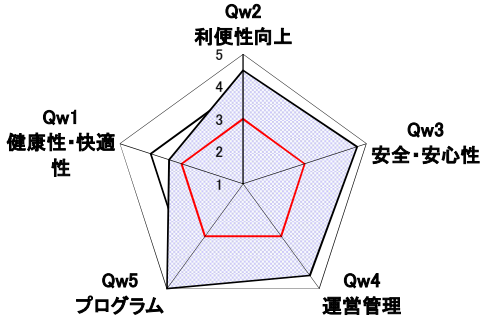
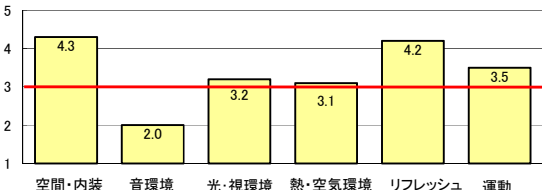
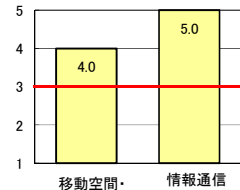
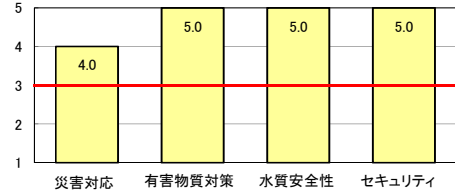
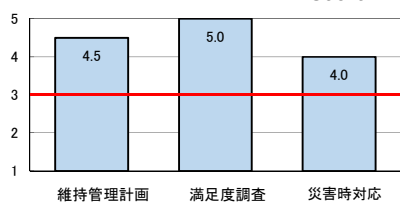
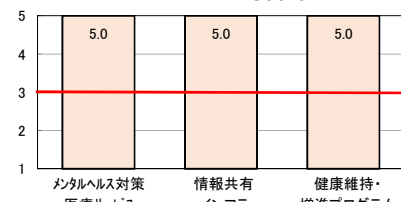
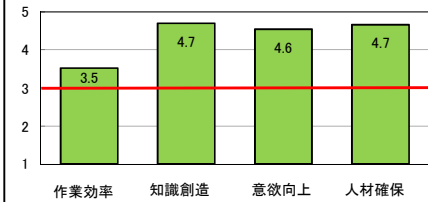


CASBEE®-ウェルネスオフィス | 評価結果 |

■使用評価マニュアル：CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-WO_2021(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 評価パターン	
建物名称	明治安田金沢ビル	階数	地上9F	評価対象：パターン3
建設地	石川県金沢市	構造	RC造	1-3 外観 
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	220 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	1,700 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所	評価の段階	設計段階(実施設計・施工)評価	
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2024年8月30日	
敷地面積	1,578 m ²	作成者	株式会社イズミコンサルティング	
建築面積	505 m ²	確認日	2024年8月30日	
延床面積	4,206 m ²	確認者	大成建設株式会社	

2-1 総合評価	2-2 大項目の評価(レーダーチャート)
Rank: S 76.3 /100 ★★★★★ S ランク:★★★★★ > 75 A ランク:★★★★ >= 65 B+ランク:★★★★ >= 50 B-ランク:★★★ >= 40 C ランク:★★ < 40	

2-3 中項目の評価(バーチャート)			
基本性能			
Qw1 健康性・快適性 Score: 3.4		Qw2 利便性向上 Score= 4.5	
			
		Qw3 安全・安心性 Score= 4.7	
			
運用管理			
Qw4 運営管理 Score 4.5		Qw5 プログラム Score = 5.0	
			
		参考: 知的生産性の視点に基づいた評価	
			

3 設計上の配慮事項		
総合 金沢市の中心市街地を形成している百万石通りに面している。 外装には木ルーバーを設け、金沢らしい外装計画により街の景観に配慮している。 また、免震構造採用や健康経営の取組みにより、ワーカーの健康性・快適性にも配慮している。		
Qw1 健康性・快適性 ・外装に木ルーバーを設けた金沢らしい外装計画	Qw2 利便性向上 ・OAコンセント容量：50VA/m ² 以上	Qw3 安全・安心性 ・免震構造の採用
Qw4 運営管理 ・維持保全計画、中長期保全計画、BCP、消防計画等の整備	Qw5 プログラム ・健康診断やストレスチェックの実施 ・健康維持増進に関する費用補助	その他 -

CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版

明治安田金沢ビル

バージョン CASBEE-WO_2021(v1.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート			
配慮項目		環境配慮の概要記入欄	評価点
総合評価			4.0
Qw1 健康性・快適性			3.4
1 空間・内装			4.3
1.1 レイアウトの柔軟性	1.1.1 空間の形状・自由さ	開放的な執務空間がプランニング可能	5.0
	1.1.2 荷重のゆとり	執務室の積載荷重:4500N/㎡以上、地震用・架構用の割増なし	4.0
	1.1.3 設備機器の区画別運用の可変性	空調及び照明設備のレイアウト変更に対応した区画分け	5.0
1.2 知的生産性を高めるワークスペース		知的生産性を高める働き方に即したレイアウト計画・整備を実施	5.0
1.3 内装計画	1.3.1 専有部の内装計画	コンセプトを内装計画に反映、内装と照明の一体化等	5.0
	1.3.2 共用部の内装計画		3.0
1.4 作業環境	1.4.1 オフィス什器の機能性・選択性	健康に配慮されたオフィス什器の選択が可能	5.0
	1.4.2 OA機器等の充実度	Wi-Fi環境の整備、セキュアプリント、PHS電話の採用	5.0
1.5 広さ			1.0
1.6 外観デザイン		周辺のまちなみや風景への調和、植栽による良好な景観形成	5.0
2 音環境			2.0
2.1 室内騒音レベル			1.0
2.2 吸音			3.0
3 光・視環境			3.2
3.1 自然光の導入		開口率:20%以上	5.0
3.2 グレア対策	3.2.1 開口部のグレア対策		3.0
	3.2.2 照明器具のグレア対策		1.0
3.3 照度		照度:500lx以上1000lx未満	4.0
4 熱・空気環境			3.1
4.1 空調方式及び個別制御性			2.0
4.2 室温制御	4.2.1 室温		3.0
	4.2.2 外皮性能	断熱性能の高い外皮・窓仕様の採用	4.0
4.3 湿度制御			3.0
4.4 換気性能	4.4.1 換気量	換気量:30㎡/h・人以上	4.0
	4.4.2 自然換気性能		3.0
5 リフレッシュ			4.2
5.1 オフィスからの眺望		屋外の情報を得られる窓を設置、金沢城公園の借景	5.0
5.2 室内の植栽・自然とのつながり		執務空間で植栽等の自然を感じることができる計画	4.0
5.3 室外(敷地内)の植栽・自然とのつながり		緑地の維持管理計画、保水性舗装材の採用	4.0
5.4 トイレの充足性・機能性			3.0
5.5 給排水設備の設置自由度			3.0
5.6 リフレッシュスペース		多様なニーズに応えられるリフレッシュスペースを確保	5.0
5.7 食事のための空間		快適な食事や軽食が取れるスペースの計画	5.0
5.8 分煙対応、禁煙対応		敷地内完全禁煙	5.0
6 運動			3.5
6.1 運動促進・支援機能		運動を促進・支援する設備の計画	4.0
6.2 階段の位置・アクセス表示			3.0
Qw2 利便性向上			4.5
1 移動空間・コミュニケーション			4.0
1.1 動線における出合いの場の創出		動線上に会話を誘発する工夫に配慮した計画	5.0
1.2 EV利用の快適性			3.0
1.3 バリアフリー法への対応		バリアフリー新法の建築物移動等円滑基準を満たす	4.0
1.4 打ち合わせスペース		十分な打ち合わせスペースを確保	4.0
2 情報通信			5.0
2.1 高度情報通信インフラ		OAコンセント容量:50VA/㎡以上	5.0

Qw3 安全・安心性			4.7
1 災害対応			4.0
1.1 耐震性	1.1.1 躯体の耐震性能	建築基準法に定められた耐震性の50%増の耐震性の確保	5.0
	1.1.2 免振・制振・制震性能	建物全体的に揺れを抑える装置の採用(基礎免震)	5.0
	1.1.3 設備の信頼性		3.0
1.2 災害時エネルギー供給			3.0
2 有害物質対策			5.0
2.1 化学汚染物質		ほぼ全面的にF☆☆☆☆、低VOCの建築材料を採用	5.0
2.2 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない建材種別を4種別以上採用	5.0
2.3 有害物質の既存不適格対応	2.3.1 アスベスト、PCB対応		-
	2.3.3 土壌汚染等対応		-
3 水質安全性			5.0
3.1 水質安全性		水質安全性対策の実施	5.0
4 セキュリティ			5.0
4.1 セキュリティ設備		監視カメラの設置、入退室管理設備の整備等	5.0
Qw4 運営管理			4.5
1 維持管理計画			4.5
1.1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い内装仕上げの採用等	4.0
1.2 維持管理用機能の確保		維持管理のしやすさに配慮した計画	4.0
1.3 維持保全計画		維持保全計画の策定、予防保全・事後保全の実施予定	5.0
1.4 維持管理の状況	1.4.1 定期調査・検査報告書		-
	1.4.2 維持管理レベル		-
1.5 中長期保全計画の有無と実行性		中長期保全計画の策定	5.0
2 満足度調査			5.0
2.1 満足度調査の定期的実施等		満足度調査を定期的に実施、改善策への活用	5.0
3 災害時対応			4.0
3.1 BCPの有無		BCPの策定	4.0
3.2 消防訓練の実施		消防計画書の作成、消防訓練実施、AED講習の実施予定	5.0
3.3 AEDの設置			3.0
Qw5 プログラム			5.0
1 メンタルヘルス対策、医療サービス		健康診断、ストレスチェックの実施、メンタルヘルス対策の実施	5.0
2 情報共有インフラ		情報共有インフラの整備	5.0
3 健康維持・増進プログラム		健康維持・増進するプログラムを採用	5.0